

**個別最適な学びと協働的な学びの
一体的な充実について**

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

資質・能力を育成するための単元（題材）を構想する

主体的・対話的で深い学びの実現



デジタル学習基盤（一人1台端末やクラウド環境等）の活用

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

深い教材研究

- ☐ 単元(題材)で育成する資質・能力を明確にしていますか。
- ☐ 児童生徒の深い学びを促し、教科の本質に迫る「単元を貫く問い」などを設定していますか。
- ☐ 児童生徒の思考の流れを想定した単元(題材)を構成していますか。
- ☐ 多様な個性・特性を有する児童生徒が存在することを前提として、授業において起こりうるつまずきとそれに対する支援を想定していますか。

個の見取り

- ☐ 児童生徒一人一人の興味・関心や能力・特性等を把握していますか。
- ☐ 授業において、展開や振り返りの場面で、児童生徒一人一人の学習進度や学習到達度、つまずき等を把握していますか。(形成的評価)
- ☐ 単元(題材)の終わりに、児童生徒一人一人が単元(題材)で育成する資質・能力を身に付けることができたか把握していますか。(総括的評価)

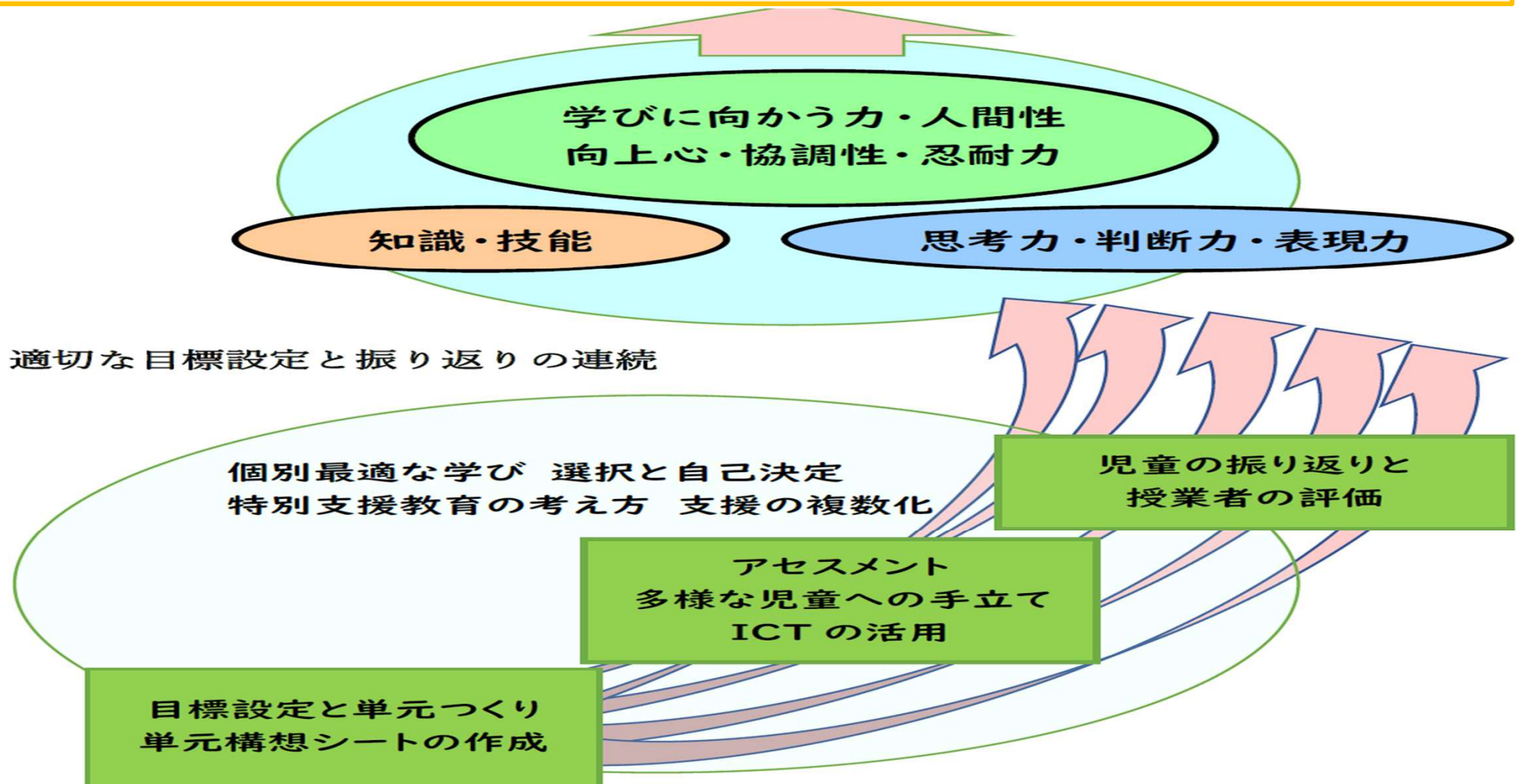
個への支援

- ☐ 児童生徒が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・学習方法・ペース等を選択できる学習環境を整えていますか。
- ☐ 個別最適な学びの中で孤立した学びに陥らないよう、また、協働的な学びの中で個が埋没しないよう、児童生徒一人一人に適切な指導や関わりを行っていますか。

廿日市市立宮内小学校の取組

【研究主題】

自ら考え学び高め合う姿を目指して
～適切な目標設定と振り返りの連続を通して～



特別支援教育の考え方を生かした授業改善

- 1 困難さへの気付き（何に困っているのか）
- 2 困難さの背景を考える（子供の見取り）
- 3 指導の工夫と意図的なしかけづくり
（教師同士の連携）
- 4 個に応じた手立てを検討・実施
（特別支援学級の先生の考えを参考に）
- 5 手立ての効果を確認（子供の学びやすさ）

廿日市市立宮内小学校の取組

深い
教材研究

個の
見取り

個の支援シート

自分で学びを進めるために支援が必要な児童への手立て (Fさん)

	想定される場面	その要因	実態に対する支援
単元を通して	・文章題で、数の大小関係なく出てきた順番で式を立ててしまう。(3－8などにしてしまうことがある。) ・式からそれに対応する具体的な場面や数量の関係を捉えることが難しい。	・数の大小の理解はできているが、文章題の内容理解につながらない。 ・ひらがなの習得が十分ではなく、語彙が少ないため、文章から内容を読み取りにくい。 ①経験、体験が伴っていない。 ②式と場面が一致していない。	・挿絵やブロックを利用し、イメージをもちやすくする。 ・数の増減とかかわる言葉のイメージをもたせるため、他教科や生活の中で、算数用語と操作を結び付ける。 ・ひらがなの読み書きや、文字をまとまりで読むトレーニングをする。(通級) ①日常生活の中で、引き算場面を取り上げ、引き算の概念を育てる。 ②問題場面をイラストで示し、数操作をしながら考えさせる。

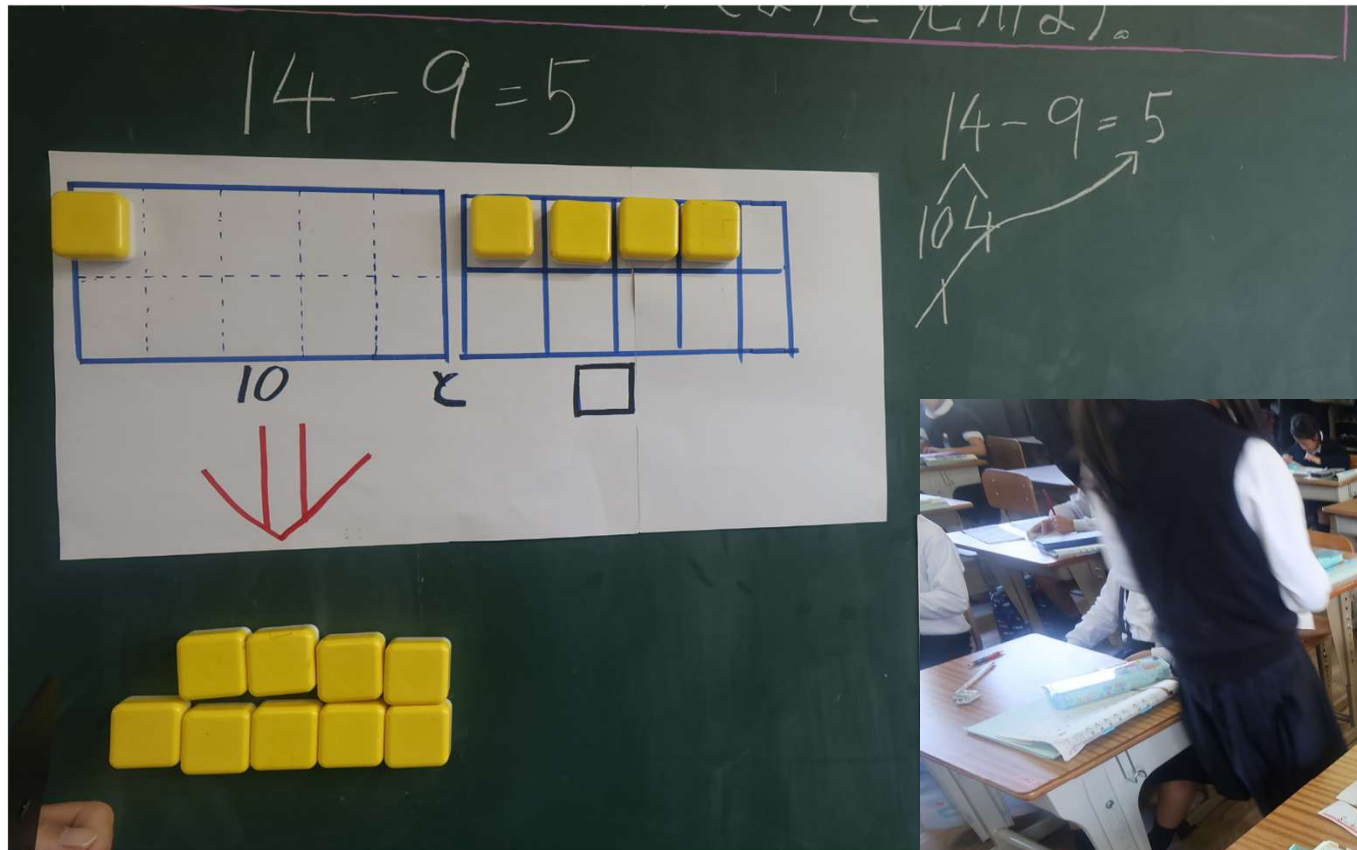
アセスメントにより作成した個の支援シート

廿日市市立宮内小学校の取組

個の
見取り

個への
支援

板書の工夫による視覚的支援



板書で示すものと手元にあるものが同じになるように配慮

個への
支援

とおり

どちらを選んで取り組んでもよい（選択肢と自己決定）

実態を踏まえた学習プリントの工夫



学習プリントや学習道具を自分で選択しながら学ぶ児童の姿

廿日市市立宮内小学校の取組

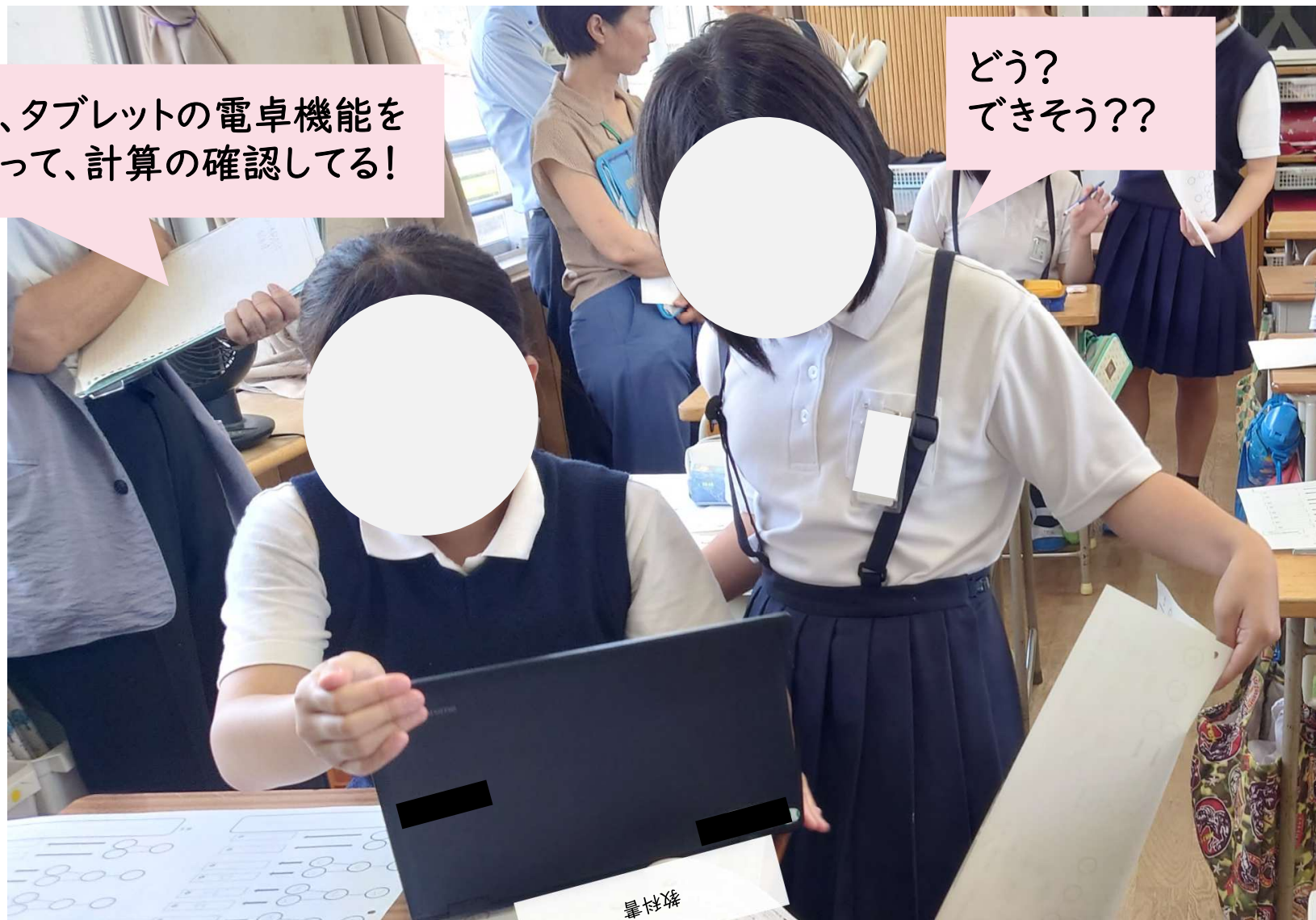
個の
見取り

個への
支援

協働的に学ぶ機会の設定

今、タブレットの電卓機能を使って、計算の確認してる！

どう？
できそう??



お互いの進捗状況を確認し合いながら学んでいる児童の姿

廿日市市立宮内小学校の取組

個の
見取り

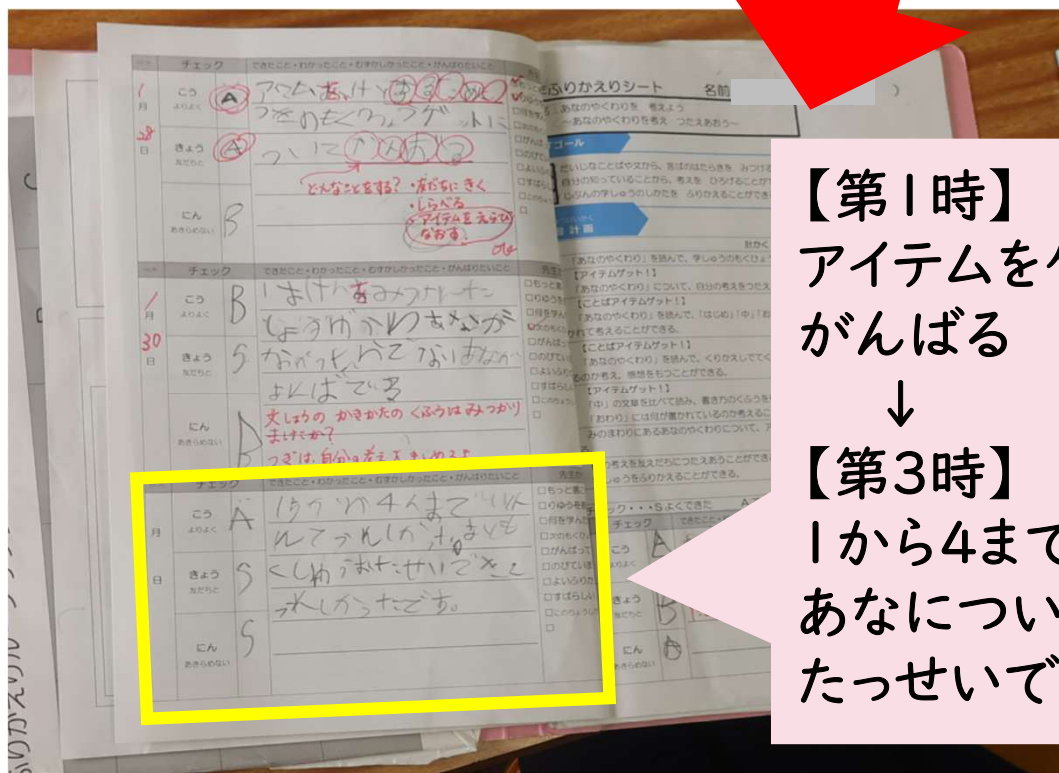
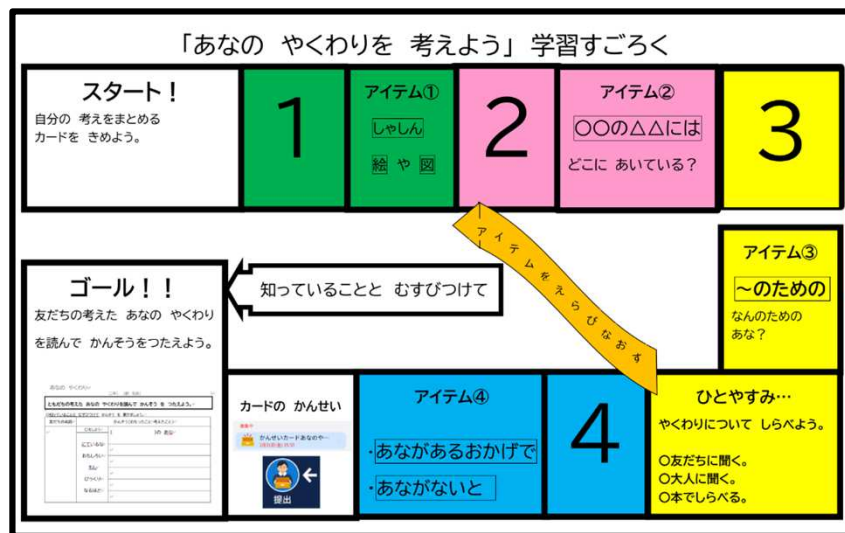
	S	A	B	C
向 よりよく	みつけたかんがえを つかって、チャレンジ しつづけた。	もっと よいかんがえ を、みつけた。	もっと よいかんがえ を、みつけようとした。	あたらしいかんがえを、 みつけようと しなかつ た。
協 ともだちと	Aのことができ、じぶん のアドバイスで ともだ ちができるようになった。	Bのことができ、ともだ ちに すすんでアドバイ スできた。	ひとのかんがえを きい たり じぶんのかんがえ をつたえたりした。	だれにも きこうとせ ず、わからないままにし た。
忍 あきらめない	じかんいっぱいやって、 かだいを クリアでき た。	じかんいっぱい やった。	あきらめず、じかんいっ ぱい やろうとした。	さいしょから あきらめ た。

ふりかえりルーズブリック(1・2・3年)

ふりかえりルーズブリック(向・協・忍)

廿日市市立宮内小学校の取組

個の
見取り



【第1時】

アイテムをゲットできるように
がんばる



【第3時】

1から4までいけてよかった
あなについて「くわしくいう」が
たっせいできてうれしかったです

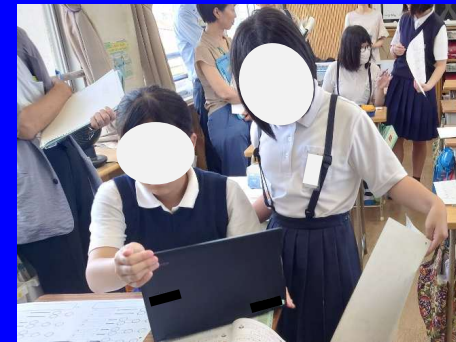
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

資質・能力を育成するための単元（題材）を構想する

主体的・対話的で深い学びの実現



個別最適な学び



協働的な学び

デジタル学習基盤（一人1台端末やクラウド環境等）の活用

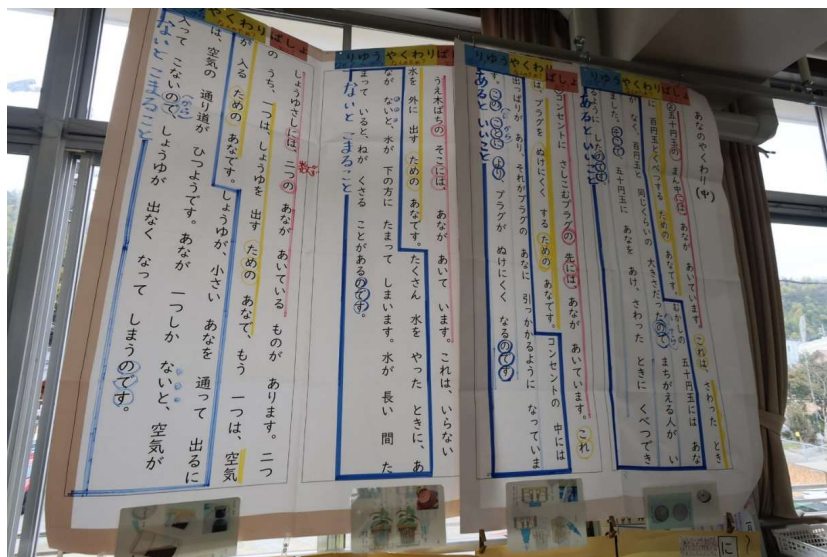
廿日市市立宮内小学校の取組

深い
教材研究

個への
支援

実態を踏まえた学習環境の工夫

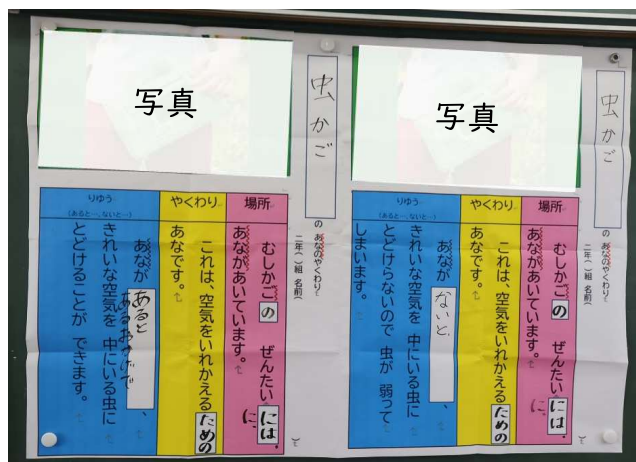
既習事項の教室掲示



デジタル機器の活用



モデルの共有



支援機器の活用



学習環境、支援機器などを活用して学ぶ児童の姿

教師の役割



教師の役割は、児童実態を適宜把握し、全体へ指導をしたり、個に応じた指導を行ったりして、児童の主体的な学びを促すこと！

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

深い教材研究

- ☐ 単元(題材)で育成する資質・能力を明確にしていますか。
- ☐ 児童生徒の深い学びを促し、教科の本質に迫る「単元を貫く問い」などを設定していますか。
- ☐ 児童生徒の思考の流れを想定した単元(題材)を構成していますか。
- ☐ 多様な個性・特性を有する児童生徒が存在することを前提として、授業において起こりうるつまずきとそれに対する支援を想定していますか。

個の見取り

- ☐ 児童生徒一人一人の興味・関心や能力・特性等を把握していますか。
- ☐ 授業において、展開や振り返りの場面で、児童生徒一人一人の学習進度や学習到達度、つまずき等を把握していますか。(形成的評価)
- ☐ 単元(題材)の終わりに、児童生徒一人一人が単元(題材)で育成する資質・能力を身に付けることができたか把握していますか。(総括的評価)

個への支援

- ☐ 児童生徒が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・学習方法・ペース等を選択できる学習環境を整えていますか。
- ☐ 個別最適な学びの中で孤立した学びに陥らないよう、また、協働的な学びの中で個が埋没しないよう、児童生徒一人一人に適切な指導や関わりを行っていますか。